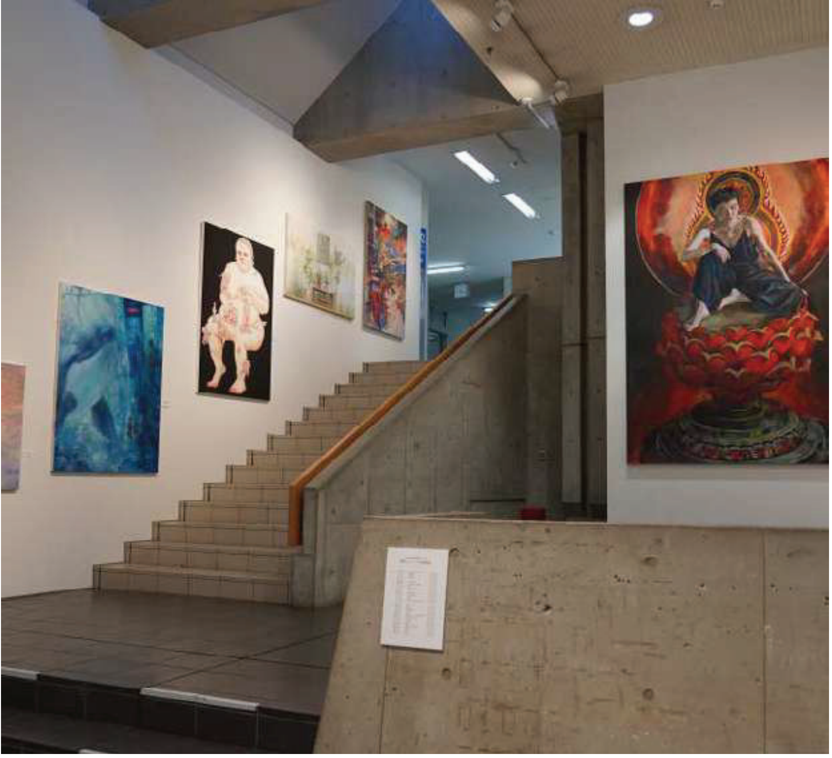
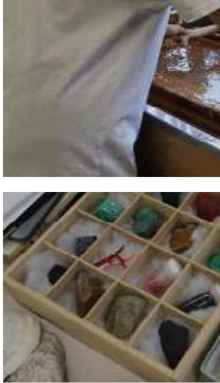
Department of Painting, Japanese Painting Course 2023

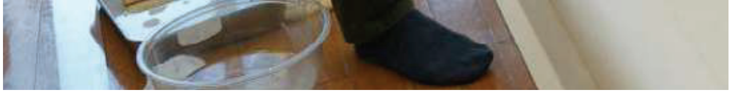
TAMA ART UNIVERSITY

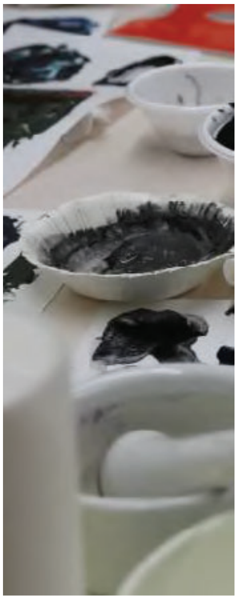
多摩美術大学 美術学部 絵画学科 日本画専攻



CORNWALL
1609
ON HUDSON







はじめに

Introduction

この豊かな風土と文化に培われ、独自の美意識を育んできた日本画。
日本画の大きな魅力は、自然の素材や技法を自在に使いこなすことによって生まれる表現の豊かさにあります。
同時に、伝統の継承にとどまらず、新たな表現の地平を切り拓く奥深さも備えています。
その意味で、日本画の世界は古くて新しい未知の可能性を秘めた領域です。
日本画専攻は、伝統的な素材の理解と基本的な技法の修得を基本に、
個性的で自由闊達な創造性を伸ばすことによって、日本の美術の土壌を豊かに広げる人材を育成します。

美術学部絵画学科日本画専攻
大学院美術研究科絵画専攻日本画領域

年間カリキュラム

Curriculum

月	内容
4月	道具説明［1年］ 春季コンクール［2、3、4年］ 佐藤美術館 日本画大学院2年生展［大学院2年］ 課題実技／ゼミ
5月	表具実習［2年］ 箔実習［2年］ 課題実技／ゼミ
6月	山中湖ゼミ［1年］ 課題実技／ゼミ
7月	油画、日本画合同技法講座［1年］ 絵具実習、筆実習［2年］ オープンキャンパス 公開講評会［3年］ 課題実技作品展示［1〜4年］ 前期全体講評会［大学院］
8月	夏季休暇
9月	夏季コンクール［1〜4年］ 卒業制作エスキース［4年］ 材料研修ゼミ［3年］
10月	模写実習［2年］ 箔実習［1年］ 課題実技／ゼミ
11月	芸術祭 絹本実習［1年］ 課題実技／ゼミ
12月	課題実技 冬季休暇
1月	冬季コンクール［1年］ 卒業制作［4年］ 修了制作［大学院］ 卒業制作展・修了制作展［4年・大学院］
2月	春季休暇 入試期間 東京五美術大学連合卒業・修了制作展（国立新美術館）［4年・大学院］
3月	学位授与式（卒業式）

1

Explanation of Curriculum

素材力の育成を行い、日本画の絵画、素材、用具の基礎を学ぶ。

1a

1b

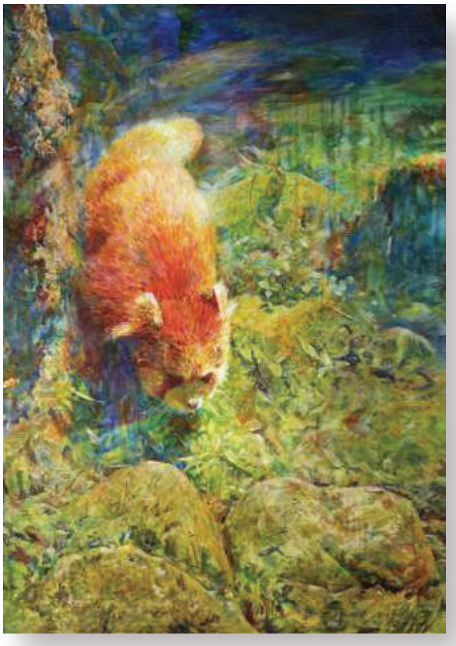
1c

課題実技Ⅰ	百合制作、動物制作、風景制作、裸婦制作、絹本制作、山中湖ゼミ、デッサン研究会
日本画実技Ⅰ	実技課題[年2回(夏季・冬季)コンクールとして日本画教員全員による講評会を実施]
材料基礎学Ⅰ	絹本実習、箔実習、技法講座[テンペラ・下地研究・樹脂・映像・陶芸・銅版画・パフォーマンス]

1
2
3
4
M

1d

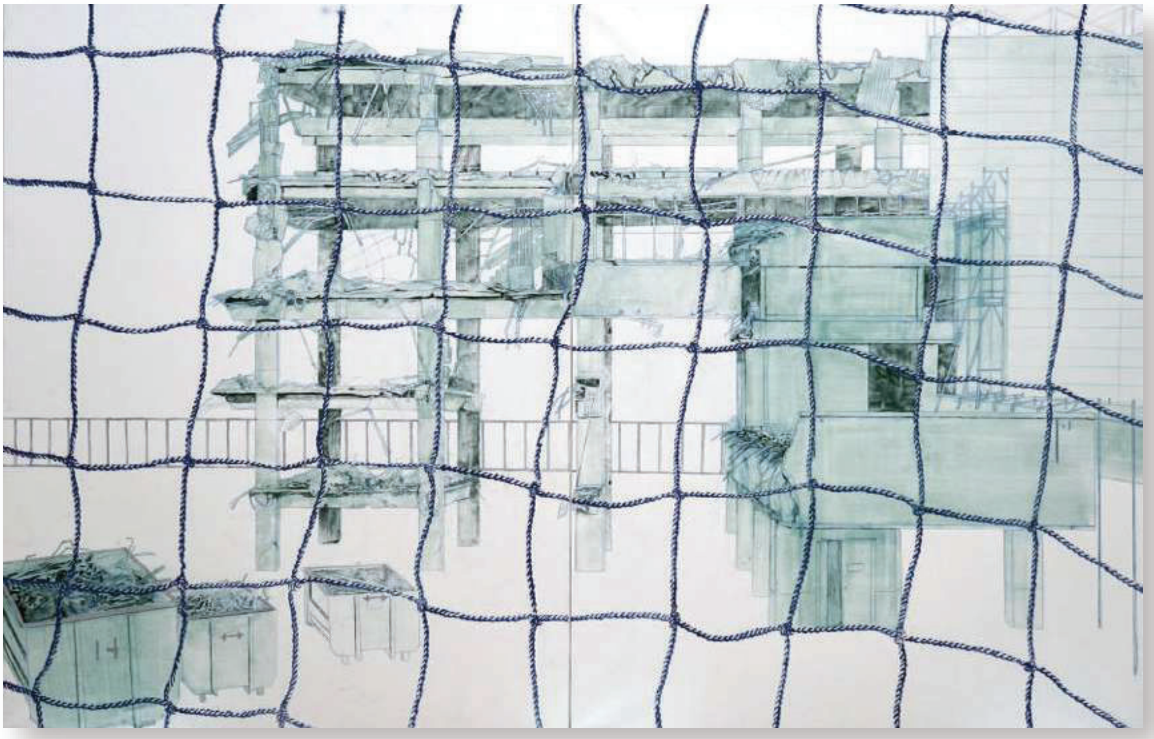
1f

1e


1a　岡山昇平　「歩路」　80.3×100(cm)
1b　山中実桜　「酔る」　116.7×91(cm)
1c　太田瑠菜　「吐露」　65.2×53(cm)
1d　進藤有輝　「奇怪な獣たち」　130.3×162(cm)
1e　岩本悠　「真昼の夢」　103×72.8(cm)
1f　佐野珠子　「綻ぶ」　53×65.2(cm)

2

課題を通じて、表現、創造を自由に駆使する基礎を身につける。



2a

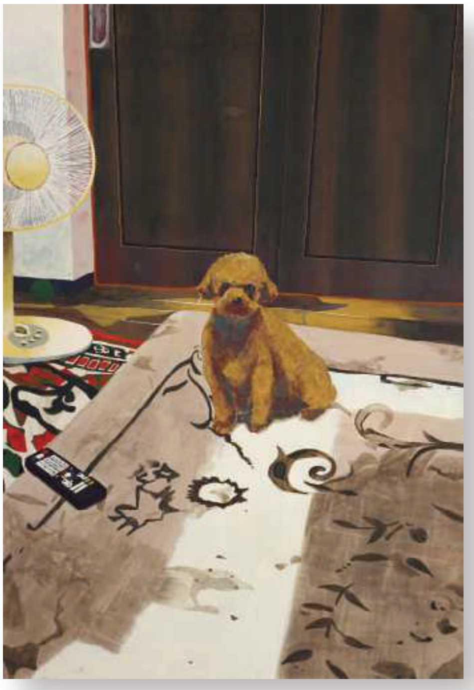
2b

2c

課題実技 II	花鳥画制作、風景制作、人物制作、動物制作
日本画実技 II	実技課題［年2回(春季・夏季)コンクールとして日本画教員全員による講評会を実施］
材料基礎学 II	模写実習、表具実習、絵具実習、筆実習、箔実習
特別演習	紙漉きの演習 (選択自由科目)

2a　中原由賀　「つぎはなに建つんだろうね」 91×233.4(cm)
2b　羅浩鳴　「月下」 90×90(cm)
2c　高橋舞　「陸で生きる」 162×112(cm)
2d　早川実花　「光」 145.5×97(cm)
2e　袴田薫　「リズ」 116.7×91(cm)
2f　菅野双葉　「あたるとあたると私とあたる」 111×145.5(cm)

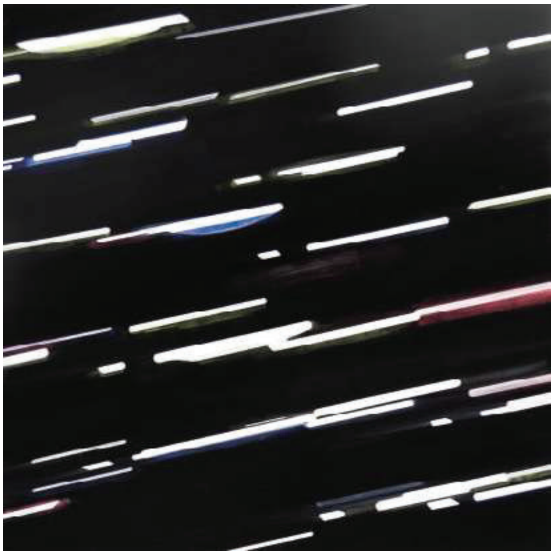
2d


2e

2f

感性の表現力をつけると同時に、幅広い知的応用力を養う。

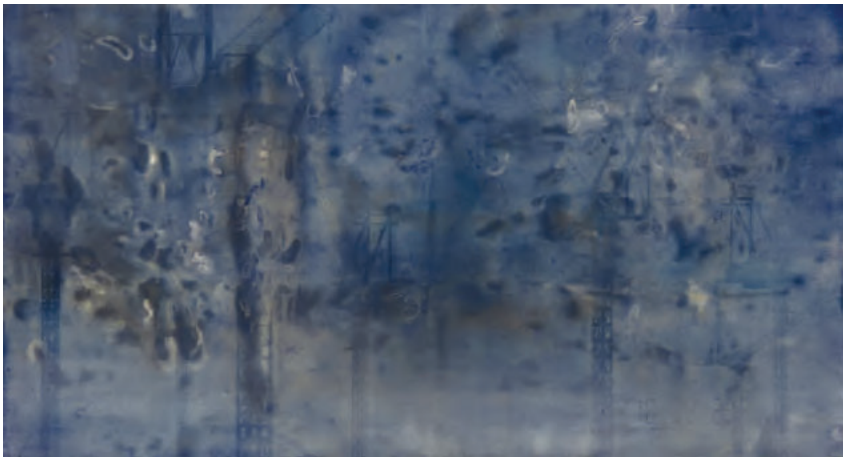
3a



3b

3c

課題実技 III	自由制作
日本画実技 III	実技課題［年2回(春季·夏季)コンクールとして日本画教員全員による講評会を実施］
特別演習	紙漉きの演習(選択自由科目)



3d

3e

3a　山田彩乃　「誘う」　130×179(cm)
3b　磯崎海人　「cool running」　162×162(cm)
3c　家入嘉寿馬　「Ghostization (愛のために)」　162×130.3(cm)
3d　古屋梓　「夢日記 ('18 8 23) 」　85×158(cm)
「夢日記 ('22 4 18) 」　85×158(cm)
3e　栗原葉月　「緑青苔」　130.3×162(cm)

主体性･自主性を持って創作し、現代技術･創造精神を形成する。

4a

4b

課題実技 IV	自由制作
日本画実技 IV	実技課題［年2回(春季･夏季)コンクールとして日本画教員全員による講評会を実施］
特別演習	紙漉きの演習(選択自由科目)
卒業制作	

4c

4d

4a　松下幸葉　「夏生まれの私と温室育ちのあなたの折衷案」　248.5×333.3(cm)
4b　神山彩乃　「interaction」　180×360(cm)
4c　葛井麻央　「MIRROR STAGE BERSERKER」　216.6×361.6(cm)
4d　鶴田慧　「秋陰粧う」　194×259(cm)

M

作家への第一歩としてより深く自由な発想を追求し、
自己の作品に沿った思考や技術の研究を行う。

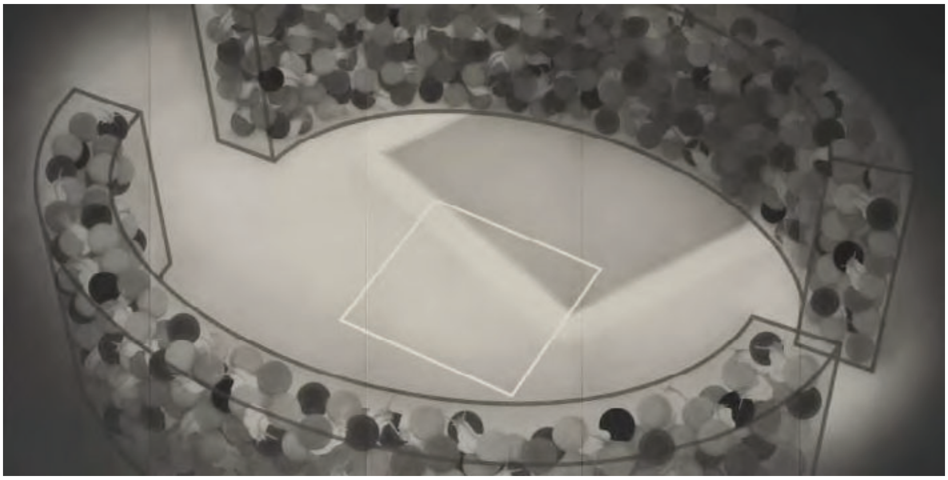
Ma

Mb

Ma　通木菜々絵　「Living proof」　180×360(cm)
Mb　陳柏欣　「我々 団結しよう」　227×365(cm)
Mc　山内明日香　「プルークボーゲン」　182×420(cm)
Md　林銘君　「降臨 」　200×400(cm)
Me　袴田真子　「このさき」　182×273(cm)

絵画制作研究 I	全体講評会（前期・後期）
絵画制作研究 II	全体講評会 / 修了制作講評会
研究指導 I II	論文指導を含む

Mc



Md

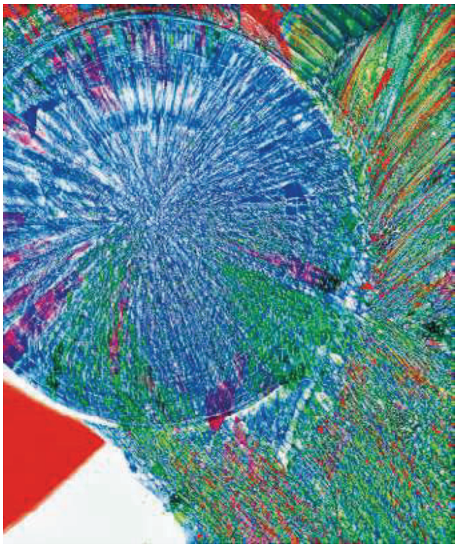
Me

教員紹介 Introduction of Teachers

教授

武田　州左

Takeda Kunisa



「穹窿·997」(194×162cm) / 2022

教授

千々岩　修

Chijiiwa Osamu

「贈られた世界」(120×120cm) /2021

教授

岡村　桂三郎

Okamura Keizaburo

「百眼の魚」(350×1200cm) /2018 撮影者:末正 真礼生

教授

加藤　良造

Kato Ryozo

「山水境」(194×130.3cm) /2022

講師

陳　芃宇

Chen Pengyu

「停止の流れ」(91×72.7cm) /2021

非常勤講師

長谷川　幾与

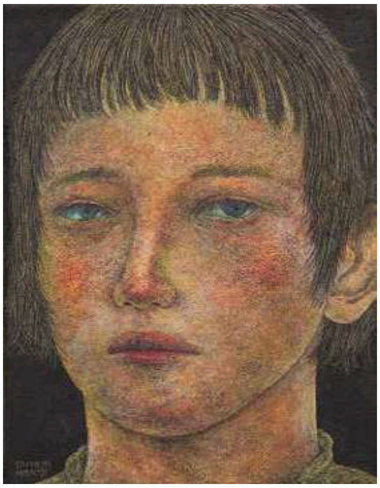
Hasegawa Kiyo

「l' effervescence II」(145.5×45.5cm ×4枚) /2021

非常勤講師

堀江　栞

Horie Shiori



「輪郭＃17」(41×31.8cm) / 2020

客員教授

町田　久美

Machida Kumi

「雪の日」(194×162cm)国立国際美術館蔵 /2008
©Kumi Machida, Courtesy of Nishimura Gallery

特別講座講師 Special Lecture

名誉教授

中野 嘉之

Nakano Yoshiyuki

「 濤 」(33×95cm) /2010

名誉教授

米谷　清和

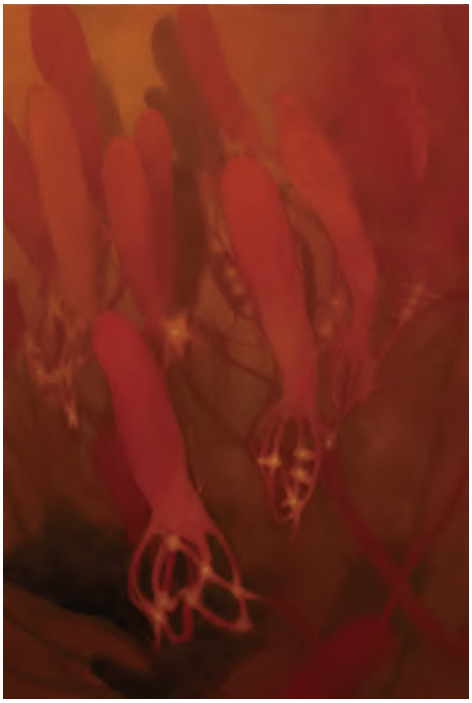
Yonetani Kiyokazu

「 朝の日差し 」(195×195cm) /2017

特別講座講師

新恵　美佐子

Shine Misako



「花 」(194×130cm) / 2021

名誉教授

宮　いつき

Miya Itsuki

「双子座」(162×130.3cm) /2000

特別講座講師

吉田　有紀

Yoshida Yuki

「Look for the silver lining」
(45cm～90cmの変形六角パネルによるインスタレーション) /2020

日本美術院同人・女子美術大学教授

村岡　貴美男　特別講座講師

Muraoka Kimio

「赤いソファ」(100×100cm) /2020

株式会社 小島美術 社長

小島 暁夫　特別講座講師

Kojima Akio

美術評論家・美術史家

北澤 憲昭　特別講座講師

Kitazawa Noriaki

泉屋博古館 東京館長

野地 耕一郎　特別講座講師

Noji Koichiro

卒業後の展望

Professional Carrier

多くの卒業生は、創作活動を続けています。そのなかには作家として活動している者、大学院などに進学する者、海外に留学する者、教員になる者などその形はさまざまです。絵本作家や装こう師として修復や表具に携わる者もいるなかで、一般企業に就職する者もあり、出版、ゲーム、アニメーションなど、日本画で培った感性を生かして活躍する者もいます。

進路先

Carrier

〈 日本画学科 〉

トランス·コスモス株式会社／株式会社トライエース／株式会社日本ブレーン／株式会社スタジオ雲雀／株式会社やまと／特定非営利活動法人道／株式会社ポニーキャニオンプランニング／サンエックス株式会社／日本テーマパーク開発株式会社／株式会社コナミアミューズメント／株式会社スタジオ·ユニ／社会福祉法人友愛学園／有限会社スタジオ·イースター／バンタンゲームアカデミー／Bardel Entertainment／多摩美術大学大学院博士前期課程／東京藝術大学大学院

〈 大学院日本画 〉

株式会社寧徳／株式会社キュー／ゼニマックス·アジア株式会社／学株式会社アニメイト／株式会社マンモス／多摩美術大学大学院博士後期課程

── 堀江先生にとって、多摩美日本画はどのような場所でしたか。

自分自身の好きなもの、描きたいことに正面から向き合えた場所でした。岩絵具という素材への深い理解をお持ちの先生方にじっくり絵を観ていただける講評会は、とても貴重な機会です。毎回不安は尽きませんでしたが、月々の課題やコンクールの講評会でいただいた先生方のお言葉は、いまでも制作の励みになっています。

《そっと》／2011／M100

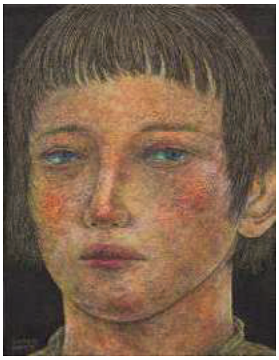
── 制作を続ける上で大切にしていること、大切だと思うことは何でしょうか。

卒業して制作を続けていると、残念ながらとても辛い経験をすることがあります。これまで多くの若い作家が、さまざまな事情で、筆を折らざるを得ない状況に追い込まれてきたはずです。私も実際に絵が描けなくなりました。このときの経験から、若い世代の皆さんを自分と同じような目に遭わせたくない、そのためにできることをしたい、と強く思うようになりました。社会にも目を向けて、より良い環境を作るために行動していくことが大切だと考えています。

《触れえないものたちへ》／2022／P10

── 未来の後輩たちに一言、お願いします。

描く喜び、一色一色を画面に置いていく楽しさを、皆さんは知っていると思います。制作はときに苦しさを伴いますが、この喜びや楽しさが力になってくれます。諦めずに描いていってください。



《輪郭＃17》／2020／F6

《さまよう》／2010 ／91×238(cm)

堀江 栞　Horie Shiori

1992年フランス生まれ。2014年 多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業
2015年 五島記念文化賞美術新人賞、第6回東山魁夷記念日経日本画大賞展入選／2021年 VOCA展2022現代美術の展望ー新しい平面の作家たちーVOCA佳作賞、第32回タカシマヤ美術賞／2022年「生誕110年松本竣介　[小企画] 堀江 栞 ー 触れえないものたちへ」（神奈川県立近代美術館鎌倉別館）／2023年「生誕110年記念 松本竣介デッサン50」特別出品（大川美術館）

多摩美術大学 美術学部 絵画学科 日本画専攻
2023年度　パンフレット

発行
多摩美術大学美術学部絵画学科日本画研究室
〒192-0394　東京都八王子市鑓水 2-1723

TEL : 042-676-8611(代表) / 042-679-5619 (研究室直通)
E-mail : nihonga@tamabi.ac.jp
www.tamabi.ac.jp/nihonga

表紙作品
山内 明日香 (’23 大学院修了)

デザイン
田村 正敏

印刷・製本
渡辺印刷株式会社

2023年 7 月1 5 日 発行

本書収録内容の無断転載、複写、引用を禁じます。

Department of Painting, Japanese Painting Course
Pamphlet 2023

Publication
Department of Painting, Japanese Painting Course
2-1723 Yarimizu,Hachioji,Tokyo ,Japan 192-0394

TEL : 042-676-8611 / 042-679-5619 (Direct)
E-mail : nihonga@tamabi.ac.jp
www.tamabi.ac.jp/nihonga

Cover
Asuka Yamanouchi ('23 Completed Master’s Degree)

Design
Masatoshi Tamura

Print & Bookbinding
Watanabe Print Co., Ltd.

15 July, 2023 issue

Copyright (C) 2023 Tama Art University. All Right Reserved.

Department of Japanese Painting
2-1723 Yarimizu,Hachioji,Tokyo, JAPAN 192-0394
Tel 042-676-8611 / 042-679-5619 (Direct)

表紙　山内明日香　「プルークボーゲン」　182×420cm (部分)